



2024年度事業報告

公益財団法人 名古屋YWCA

名古屋市中区新栄町2丁目3番地

TEL:(052)961-7707 FAX:(052)961-7719

E-mail:office@nagoya-ywca.or.jp

目次

* 2024年度をふりかえって	1
* 名古屋YWCA事業の目的と概要、基本方針	2
I 女性及び青少年のリーダーシップを育成する事業	3
ボランティア事業	
1. 平和・人権・国際・環境等社会の課題についての学習及び普及啓発と人材養成事業	
2. 社会的に弱い立場におかれた人への支援事業	
3. 子どもや青少年の健全な心身の育成に資する事業	
4. ボランティア養成事業	
5. その他	
II 個別相談等を通じて女性を支援する事業	9
女性のための相談・支援事業	
III 諸外国の言語及び文化を学習する機会を提供する事業	13
1. 語学・教育事業	
2. 個別に配慮が必要な子どもを支援する事業	
3. 外国にルーツを持つ生徒のための通信制高校サポート校事業	
IV 日本語教師を養成する事業	17
1. 日本語教師養成事業	
2. 日本に住む外国人の子どもを支援する事業	
3. 日本に住む外国人生活者を支援する事業	
V 日本語学校を運営する事業	20
日本語学校事業	
VI 不動産賃貸等事業	22
不動産賃貸事業	
VII その他この法人の目的を達するために必要な事業	22
■事業の目的を達成するために以下の機関を置く	
評議員会 理事会 人事委員会 新聞委員会 広報ファンドレイジング委員会	
会館管理委員会 コンプライアンス委員会	
■会員・会友・賛助会員・寄付・助成金など	
■世界YWCA・日本YWCA他	
* 隣接ビルの新築工事／7階に新しい教室	34
* 公益財団法人名古屋YWCA組織図	36
* 貸借対照表	37
* 正味財産増減計算書	38

2024年度をふりかえって

2024年度、世界は紛争や分断、気候変動、社会的な孤立や格差の拡大といった課題に直面し続けました。国内でも、災害の頻発や物価の上昇が人々の暮らしに影を落とし、特に弱い立場にある人々への影響が懸念されました。このような不安定な時代にあって、名古屋YWCAは、「一人ひとりが自分らしく生きる」ことを大切に、支援と学びの場を提供してきました。以下に5つの公益事業と1つの収益事業を振り返ります。

I 女性及び青少年のリーダーシップを育成する事業 多文化まつりや平和教育体験会など外部とのつながりを活かした新たな活動が生まれました。また能登半島被災者支援としてチャリティーコンサートや災害支援団体を招いた報告会を行い、厳しい生活を余儀なくされている方に心を寄せました。

II 個別相談等を通じて女性を支援する事業 コロナ禍を経て5年ぶりに「女性のための人間関係力アップ講座」を開催しました。また近隣の市町村からの女性相談事業や外部講師の依頼が多くありました。経済的困難を抱える暴力被害者のための寄付によるカウンセリングが増加しました。

III 諸外国の言語及び文化を学習する機会を提供する事業 英語の資格取得クラスが多くの受講生を集め、発達障がいの子どものための支援者養成講座は定評ある講座として定着しています。また外国ルーツの生徒のための通信制・単位制高等学校のサポート校を新たに開校しました。

IV 日本語教師を養成する事業 1年コースの日本語教師養成講座を実施しました。施行された日本語教育機関認定法に対応した講座準備のため本講座を2024年度で終了しました。外国人の子ども支援では、入試支援を手厚く行い高校進学希望者の全員が合格という嬉しいニュースが届きました。

V 日本語学校を運営する事業 多くの学生が在籍し、教室での学びに加えて社会とつながりを意識した活動を積極的に取り入れました。日本語能力試験の最も難易度が高いレベルに複数人が合格するなど、学習成果が形となって現れています。給付型奨学金を今までで最も多い12名に給付し学生の学びを支えました。

VI 不動産賃貸事業 3年計画で実施している受変電設備更新工事の2年目を完了しました。4月に6階のテナントが空きましたが、7月には新たな入居が決まりました。また7階と地下のテナントが退去しました。

「希望はわたしたちを欺くことはありません。」

(ローマの信徒への手紙5章5節)

つながりの中で新しいプログラムが生み出され、外国ルーツの生徒に学びの場を開くという新たな希望が芽吹いた1年でした。こうした小さな芽が形となったのは、共に悩み、歩んでくださった多くの方々のおかげだからだと、あらためて思われます。この芽を大切に育てながら、今後も活動・事業を続けてまいります。

新年度もまた、みなさまのお力添えをお願いいたします。

事務局長 西田文乃

＜事業の目的と概要＞

この法人は、キリスト教の基盤に立ち、女性及び青少年のリーダーシップを育て、持続可能な社会を創造し、すべての人にとっての正義と平和を実現することを目的とする。
(定款第3条、第4条より)

- (1) 女性及び青少年のリーダーシップを育成する事業
- (2) 個別相談等を通じて女性を支援する事業
- (3) 諸外国の言語及び文化を学習する機会を提供する事業
- (4) 日本語教師を養成する事業
- (5) 日本語学校を運営する事業
- (6) 不動産賃貸等事業
- (7) その他この法人の目的を達するために必要な事業

＜基本方針＞

キリスト教基盤に立ち、共に生きる平和な社会を実現する

I 女性及び青少年のリーダーシップを育成する事業

ボランティア事業

1. 平和・人権・国際・環境等社会の課題についての学習及び普及啓発と人材養成事業

(1) 社会の課題解決のために働く人材を養成する事業

- ・名古屋YWCAが依拠するキリスト教基盤の価値観を学ぶために読書会を実施した。
- ・キリスト教基盤についての講演会を行った。
- ・名古屋YMCAと共に合同祈祷週のプログラムを行った。礼拝を行い、その後会場とオンライン参加も含めた交流を行い、YWCAとYMCAの活動紹介を行った。
- ・クリスマスに礼拝とお茶会を行った。
- ・平和集会は本山央子（お茶の水女子大学ジェンダー研究所特任リサーチフェロー）を講師に、会場とオンラインのハイブリッド形式で行った。

【プログラム】

カッコ内はオンライン参加

活動名	主催	ゲスト／講師	実施日	参加延人数
キリスト教基盤読書会 『悲しみの秘義』	キリスト教基盤部会	————	4/16、5/14、 6/18、7/16、 9/17、10/15、 11/19、1/21、 2/18、3/18	10回 83 (24)
キリスト教基盤講演会 「おきなわのこころを見つめて 愛があふれる現場から」 (まるっと沖縄DAY)	キリスト教基盤部会	————	10/19	86 (14)
YWCA—YMCA合同祈祷週集会 「自然現象を学び、信仰をもって歩む 水・地・火・風をテーマに」	キリスト教基盤部会	榊原康成	11/16	28 (7)
クリスマスとともに	キリスト教基盤部会	和田芳子	12/14	33
サイレント・ピースアクション	キリスト教基盤部会	————	12/14	13
2.11平和集会 フェミニズムの視点から考える 日本の「戦後平和」と「新しい戦争」	2.11 平和集会実行 委員会	本山央子 ^{ひさこ}	2/11	65 (27)

(2) 災害被災者支援事業

〔能登半島地震支援〕2024年1月に起きた能登半島地震の被災者支援のために、「三宅百合子ハーブコンサート」を行い、収益を認定NPO法人レスキューストックヤードに寄付した。

カッコ内はオンライン参加

プログラム名	主催	ゲスト	実施日	参加人数
三宅百合子ハーブコンサート	歌の会ラルゴ	三宅百合子	5/25	74
能登半島地震 被災地支援の現場から	運営委員会	認定NPO法人レス キューストックヤード 浦野愛、佐々木裕子	9/13	26 (8)



キリスト教基盤部会のメンバーと
島しづ子さん（右から3人目）



2.11 平和集会 本山^{ひざこ}央子さん

2. 社会的に弱い立場におかれた人への支援事業

(1) 視覚に障がいを持つ人の社会参加を促進する事業

〈音声訳グループ〉は、視覚に障がいのある方が利用する「声の文庫」DAISY図書（デジタル録音図書の国際標準規格）の作成を行った。視覚に障がいのある方が美術鑑賞をすることがあたりまえのこととなるよう鑑賞会を行う活動〈アートな美〉は、鑑賞会を行った。

【プログラム】

プログラム名	主催	実施日	参加人数
あいち朝日遺跡ミュージアム鑑賞会	アートな美	10/10	19（内YWCA9）
パウル・クレー展鑑賞会	アートな美	2/6	19（内YWCA11）

【日常活動】

プログラム名	主催	回数	参加人数
「声の文庫」、協力団体、個人依頼の録音図書の作成	音声訳グループ	18タイトル	———

(2) 高齢者の福祉に資する事業

高齢者が自立して生きていくために、日頃から社会の動きに関心を持ち共有する読書会やおしゃべりをしながら日常の不安や課題を話し合う場を提供した。〈おひとり様広場〉〈100年サロン〉

【プログラム】

内容	主催	回数	参加延人数	外部参加延人数
太極拳／福祉の学習と懇談	100年サロン	7回	59	17

*「100年サロン」は11月をもって解散した。

(3) 路上生活の人びとを支援する事業

名古屋地域の支援団体とつながり、毎週金曜日に路上生活者に食事を提供した。また、名古屋の地で20年以上続く「炊出し」活動に協力し、毎月第3火曜日に前日の「炊出し」で使用した食器、調理用具等の洗いや片付けを行い、次の「炊出し」へとつなげる活動を行った。

【プログラム】

プログラム名	担当	回数	参加延人数
食事と生活用品、衣類の提供	グループ スープキッチン	46回	利用者1291／実施者243
NPO ささしま共生会「洗い」支援	———	12回	95（YWCA 45）

(4) 日本に住む外国人を支援する事業

名古屋YWCAの日本語学校に学ぶ学生たちと日本語で交流する「おしゃべり広場」を行った。また、「外国人が話す日本語サロン」はネパール出身の講師をゲストに迎えた。

【プログラム】

プログラム名	主催	ゲスト	実施日	参加人数
外国人が話す日本語サロン 「みんなの知らないネパール」	グループ 国際交流会	パンタ アシス	9/28	25
おしゃべり広場	グループ 国際交流会	10回		延べ190 (内YWCA 86)
日本文化紹介 七夕、書道、抹茶、折り紙、年賀状	グループ 国際交流会	7回		延べ196 (内YWCA 48)



日本語サロン パンタ アシスさん



パウル・クレー展鑑賞会 (アートな美)

3. 子どもや青少年の健全な心身の育成に資する事業

青少年部会

- ・ 2月(2023年度)に実施した、若い世代が中心となり沖縄の抱える問題や平和について学ぶ「沖縄スタディツアー」の報告会をオンラインで行った。
- ・ 愛知サマーセミナー2024で、「沖縄の今を知ろう 平和を考えよう」をテーマに講座を開催した。
- ・ 青少年部会の枠を越えて39歳以下の会員に呼びかけ、「オンラインギャザリング」を行った。社会課題や関心のあることについて実践していること、これから実践したいことなどを話し合った。
- ・ 沖縄スタディツアーの参加者が撮影した写真でポストカードセットを作成した。イベントなどで1セット500円で販売し、活動資金とする。



愛知サマーセミナー2024

【プログラム】 青少年部会 主催

カッコ内はオンライン参加

活動名	ゲスト/講師	実施日	参加人数
沖縄スタディツアーオンライン報告会	————	4/6	(15)
愛知サマーセミナー2024 場所：東海中学校・東海高等学校	————	7/13	35 (内YWCA 4)
U39オンラインギャザリング	————	12/11	(8)

4. ボランティア養成事業

2023年度から続く他団体との繋がりでプログラムを実施した。

- 平和教育体験会：韓国スタディツアーで訪問した「ピースモモ」の「参加者と共に学び合う場づくり」とYWCAの「セーフスペースづくり」を合わせ、2時間のプログラムを実施した。
- 全国女性教職員学習交流会 in 愛知：韓国スタディツアーの共催団体「愛知県高等学校教職員組合女性部」と名古屋YWCAが、韓国の全国教職員労働組合ソウル支部の会場とオンラインで結び、「韓国の先生たちと語ろうー平和教育・組合運動・実践の悩み」という分科会を実施した。
- FIFTYS PROJECT ゼミ：2.11 平和集会講師の能條桃子が代表の団体「FIFTYS PROJECT」が行う全国的規模のイベント「ジェンダー平等を基礎から学ぶゼミ」の名古屋会場を担当した。
- 名古屋YWCA学院高等学校（NYAIC）の生徒と名古屋学院大学の学生、また、日本語学校など名古屋YWCAに関わる多様な国の人たちと共に「多文化まつり」を主催した。



平和教育体験会

<運営委員会>

運営委員会	在籍 9名	8回	参加延 53名 (40)
名称	内容	実施日	参加人数
全体集会	2024年度活動報告と 2025年度活動計画について	3/1	35 (4) 委任状 51

【委員会・部会・チーム 例会】

カッコ内はオンライン参加

	在籍	回数	参加延人数
キリスト教基盤部会	6	9	39
青少年部会	10	6	25
2.11 平和集会実行委員会	7	4	(24)
平和教育体験会チーム	3	3	8 (5)
愛知サマーセミナー打ち合わせ	3	1	(3)
世界YWCA / YMCA 合同祈祷週打ち合わせ	2	2	8 (内 YWCA 4)

【プログラム】

プログラム名	主催	実施日	参加延人数
平和教育体験会	平和教育体験会チーム	8/11	11
多文化まつり 準備 名古屋学院大学	運営委員会	2/3 ~ 6	64
多文化まつり		2/22	約 100

【グループ活動】

グループ名	在籍	回数	参加延人数
国際交流会（例会）	13	28	60
Spica	5	3	17
おひとり様広場	9	11	86
アートな美	19	10	187
音声訳グループ	9	10	58
スープキッチン	15	4ページ参照	4ページ参照
小さい平和の權	4	7	26
手芸グループ	4	34	89
歌の会ラルゴ	9	21	205
旧約聖書を読む会（12月で解散）	8	9	74
POP & ART	6	49	168
ブッククラブ f	14	7	38 (内、外部 23)
100年サロン	6	7	56
女性たちの居場所「とまり木」	9	22	156 (内、外部 84)

5. その他

(1) 他団体との協働・協力・集会参加等

【賛同】

プログラム名	主催	担当	実施日	参加延人数
8.6 新聞意見広告 2022	第九条の会ヒロシマ	運営委員会	—————	—————
「性暴力救援センター大阪 SACHICO」が存続の危機にあります！	性暴力救援センター・大阪 SACHICO の存続と発展を願う会	運営委員会	—————	—————
ミャンマーで困難な状況にある人びとに確実に届く国際協力を求めます	メコン・ウォッチ、武器取引反対ネットワーク (NAJAT)、日本ビルマ救援センター、日本国際ボランティアセンター (JVC)、国際環境 NGO FoE Japan、アユス仏教国際協力ネットワーク	運営委員会	—————	—————
「停戦を今すぐに。」	「停戦を、今すぐに。」アクション実行委員会	運営委員会	—————	—————
「パレスチナの平和を求める声明」	日本YWCA	運営委員会	—————	—————
私たちは尹錫悦政権退陣民主化闘争に連帯します	日韓和解と平和プラットフォーム	運営委員会	—————	—————

プログラム名	主催	担当	実施日	参加延人数
祝・日本原水爆被害者団体協議会ノーベル平和賞受賞！日本政府は、一刻も早く核兵器禁止条約を署名・批准そして、被害者への国家補償を	日本YWCA	運営委員会	————	————
名古屋市アルミ缶持ち去り行為禁止条例に関する要望書	ささしまサポートセンター	運営委員会	————	————

【プログラム】

カッコ内はYWCA参加数

プログラム名	主催（担当）	実施日	延参加人数
沖縄「平和の礎」名前を読み上げる集い	沖縄「平和の礎」名前を読み上げる集い（青少年部会）	6/16	7 (6)
視覚に障がいのある方とのプログラム	愛知県美術館（アートな美）	6/27、29、11/14、16	68 (37) *延べ人数
「沖縄の今を知ろう、平和を考えよう」	愛知サマーセミナー 2024（青少年部会）	7/13	37 (3)
「スープキッチンって何のこと？」	愛知サマーセミナー 2024 なくそう！子どもの貧困ネットワーク愛知（スープキッチン）	7/13	10 (2)
「全国女性教職員学習交流会 in 愛知」分科会「韓国の先生たちと語ろう 平和教育・組合運動・実践の悩み」	全日本教職員組合女性部（運営委員会）	11/3	48 (4)
FIFTYS PROJECT ゼミ 名古屋会場	FIFTYS PROJECT（運営委員会）	9/28、10/26、11/23、1/25、2/22、3/22	28 (12) *延べ人数

【日本YWCA】

- ・運営委員会：新倉春美
- ・人権・ジェンダー委員会：南城友佳里
- ・ユース・ジェンダー小委員会：三上奈桜
- ・候補者選考委員会：三宅ゆかり
- ・評議員会：磯村美保子
- ・理事会 監事：小宮一子
- ・リーダーシップ養成事業チーム：増井さとみ
- ・平和のためのYWCA研究室：松村真理子
- ・国連女性の地位委員会（CSW69）参加：沖崎あいみ
- ・全国会員総会

代議員：松村真理子、南城友佳里、西田文乃、二宮由布子（オンライン）、三上奈桜、吉澤道子
陪席：増井さとみ

*YWCAの活動に貢献した83歳以上の会員に贈られる「Y's Wonderful Women 賞」

磯井和子さん、中村紀子さん、長縄光子さん



旧約聖書を読む会（12月で解散）

Ⅱ 個別相談等を通じて女性を支援する事業 [定款第4条(2)]

女性のための相談・支援事業



「そのとき、あなたは何を着てた?」展

暴力被害女性のための寄付による無料カウンセリングは14名に92回提供できた。

性暴力被害者への二次被害をなくすきっかけとし、被害者へ「あなたは悪くない」というメッセージを届けることを目的に、性暴力と服装を考える展示「そのとき、あなたは何を着てた?」展を実施した。予想よりも多くの参加者が来場し、NHK等の取材も受けた。

DVから逃れた母と子どものための親子支援プログラムの高学年(小4～中1)の内容を再検討し、個別のニーズに対応できるプログラムとして実施した。定員の2倍以上の申し込みがあった。DV被害から逃れた後の支援への必要性の高さを感じた。

*ウイメンズカウンセリング名古屋YWCAカウンセラー

実施日	プログラム・事業名	講師名	回数	人数
通年	女性のためのカウンセリング	WCNY *	396	396
通年	「パープルサポート」 寄付によるDV・性暴力・虐待被害者のための無料カウンセリング	WCNY *	92	14
6/22、23	自己尊重トレーニング	WCNY *	1	8
7/27、28	アサーティブネストレーニング	WCNY *	1	6
6月～3月	ファシリテーター養成講座	WCNY *	5	延べ55
9/7 10/5 11/9	人間関係力アップ講座 *考え方のクセを変えるコツ *怒りとつきあうコツ *批判に対処するコツ	WCNY *	3	延べ21
2/11	性暴力と服装を考える展示 「そのとき、あなたは何を着てた?」	—————	1	55
4月～3月	性暴力被害女性のためのサポートグループ「あじさい」	WCNY *	3	7
通年	託児	—————	6	6
4月～3月	ケースカンファレンス	井上摩耶子	3	33

【会議】

名古屋市 名古屋市配偶者からの暴力防止及び被害者支援基本計画(第5次)策定会議 委員

困難な問題を抱える女性への支援に関する基本計画の策定に係る懇談会 委員

名古屋市ドメスティック・バイオレンス対策関係機関連絡会議 委員

名古屋市人権に関する条約(仮称)検討会 委員

愛知県 愛知県困難な問題を抱える女性支援及びDV防止ネットワーク会議 委員

【外部講師】

日程	タイトル	主催	回数	人数
5/2、8	ソーシャルワーク1 「人と人との関係における安全・安心の 理解＊DVの基本理解から支援を考える」	日本福祉大学／愛知県庁	2	250
5/21	デートDVについて 互いが尊重し合える関係とは	愛知県立守山高等学校 愛知県庁	1	270
6/4	わたらしさを大切に—ジェンダーの 視点をもっていつもわたらしく— 思い描く未来に向かって一歩前進	名古屋市東区生涯学習センター	1	8
6/28、11/29、 3/7	女性相談事例検討 電話相談で困った事例	岐阜県男女共同参画 女性の活躍センター	3	18
6/20	愛知県女性相談基礎研修	日本福祉大学／愛知県庁	1	100
6/21	デートDVの知識を身につける	安城生活福祉高等専修学校 愛知県庁	1	587
7/8	DVについて理解を深める	名古屋市歯科医師会 附属歯科衛生士専門学校	1	40
7/9	女性セミナー 思いを届けるコミュニケーション —自分らしく一歩を踏み出すために—	名古屋市中村生涯学習センター	1	12
7/9	DVについて理解を深める	日本福祉大学看護学部 愛知県庁	1	100
7/20、21	自分にOK 自分にYES! 女性のための自己尊重トレーニング	三重県男女共同参画センター	2	48
7/23	DVについて理解を深める	同朋大学／愛知県庁	1	300
8/21	DV被害者対応について考える	豊橋医療センター／愛知県庁	1	30
9/4	看護学生 特別講義 「DVについて理解を深める」	半田常滑看護専門学校 愛知県庁	1	41
9/19	子育てカレッジ もっと気持ちが楽になる ストレスを減らそう	石ヶ瀬会館	1	14
9/27	レディースカレッジ 大切なのは自分らしさ①ジェンダーとは？ わかりやすく学んでみよう	石ヶ瀬会館	1	40
9/28	「男女共同参画さ・し・す・せセミナー」 夫婦げんかとDVの違い わかりますか？ —子どもに与える影響—	松阪市役所	1	10
9/30、2/1	私に気づく、私をひらく方法 自分を認める —自分を好きになるトレーニング	石ヶ瀬会館	2	35

日程	タイトル	主催	回数	人数
10/3	子育てカレッジ 大切なのは自分らしさ ②自分を大切にしよう、対等な関係とは	石ヶ瀬会館	1	13
10/6	成人指導者ステップアップセミナー —私の怒りと付き合いには・・・—	日本ボーイスカウト愛知連盟	1	46
10/6	私を大切にするための支援者養成講座 「あなたは一人じゃない。 ステップハウスや居場所提供の実際」	女のスペースながおか	1	28
10/8	人権プログラム「人と関わる上で、自分の 尊厳、相手の尊厳を守るとは」	関西学院大学高等部	1	390
10/8、12/10、 1/14	女性のためのつながりサポート事業 相談事例検討研修	ミューいしがせ	3	24
10/11	ひとり親のあなたを応援します！ 就職フェア 2024 自分の気持ちを見つけ、私らしく伝える	ジョイナス・ナゴヤ (名古屋市ひとり親家庭就業 自立支援センター)	1	12
10/11	D V理解講座	知立市役所	1	50
10/16	電話相談員養成講座	石ヶ瀬会館	1	14
10/16	風通しの良いコミュニケーション	三重県 朝日町役場	1	30
10/25	L G B T Q講座	開運町ふれあいサロン 豊川市役所	1	9
10/29、 11/5、12	女性のための傾聴講座 *女性をとりまく社会 —生きづらさの源を考える *母娘の関係について考える *女性に対する暴力を考える	半田市役所	3	25
11/6	健康講座 身近にある他人事ではない D Vについて理解を深める	愛知教育大学/愛知県庁	1	50
11/12	D Vの基礎知識、 二次被害を防止する対応方法	安城市役所/愛知県庁	1	60
11/22	D Vが子どもに与える影響 —私たちにできること	半田市役所/愛知県庁	1	40
11/29	相談力を高める —相談者の力を引き出す質問	岐阜県男女共同参画 女性の活躍センター	1	19
12/17	社会人になるための準備講座 D V理解の出前講座	中部コンピューター・ パティシエ専門学校	1	17
12/21	D Vの相談員・支援員のための スキルアップ講座	豊川共生ネットみらい 豊川市役所	1	6
12/25	デートD Vについて理解を深める	愛知県立大学看護学部 愛知県庁	1	90

日程	タイトル	主催	回数	人数
1/30	ありのままの自分に自信を ジェンダーの思いこみから自由になる	千種生涯学習センター	1	11
1/16	岡崎市女性相談支援員 スキルアップ講座	岡崎市役所	1	6
1/19	女性のためのセルフディフェンス	多治見市学習館	1	24
1/29	お互いを大切にすることを考える しない！されない！デートDV	愛知県清須市清州中学校	1	690
2/10	お互いを尊重する関係で付き合おう	長久手市役所	1	23
2/10、17	新規電話相談員養成フォローアップ講座	半田市役所	2	8
3/9	親子で学ぶ護身術	長久手市役所	1	13
3/10	DVについて理解を深める	八事看護専門学校／愛知県庁	1	40
3/17	DV理解の出前講座	愛知県厚生農業労働組合連合会 厚生看護専門学校 愛知県庁	1	39
合計			54	3682

【委託事業など】

4月～3月	豊川市女性悩み事相談	豊川市役所	38回	93ケース
4月～3月	日進市女性悩みごと相談	日進市役所	48回	————
4月～3月	鈴鹿市女性悩み事相談スーパーバイズ	鈴鹿市役所	12回	————
4月～3月	DVサポートグループひまわり	名古屋市役所	22回	延 99人
4月～3月	岡崎市相談員スーパーバイズ	岡崎市役所	36回	————
随時	名古屋市親子カウンセリング	名古屋市役所	3組	延 10人
11月～3月	名古屋市DV被害をうけた 親子支援プログラム（小1～小4）	名古屋市役所	7回	延 53人
11月～3月	名古屋市DV被害をうけた 親子支援プログラム（小4～中1）	名古屋市役所	8回	延 16人
4月～3月	DV 性暴力 電話相談ホットライン		46回	537ケース
4月～3月	若年女性のためのSNS相談		25回	————

【協力・共催】

4月～3月（11回）	名古屋市親子カウンセリング	名古屋市役所
5/25、26	「私たちはあきらめない！中長期におけるDV被害からの離脱を果たす」 「共同親権によって現場の何が変わるのか—行政における女性相談の現状と未来を語り合う」 「“女性自立支援”とフェミニストカウンセリングの関わり—女性新法施行を見据えて」	NPO法人 日本フェミニストカウンセリング学会

Ⅲ 諸外国の言語及び文化を学習する機会を提供する事業 [定款第4条(3)]

1. 語学・教育事業

- ・ クラス数は前年度より減少したが、在籍生徒数は維持。結果として、1クラスあたりの受講生数が増加した。
- ・ 受講生数増加の要因は、ホームページやSNSを活用した広報活動の強化、問い合わせや市場ニーズを踏まえた新クラスの設置、また全クラスの事前資料を準備するなど授業の質が向上したことがある。
- ・ 英検対策クラスが好評のため受講者数が大幅に増加した。加えて、長期休暇期間および英検試験前におけるプライベートレッスンの新規受講も増加した。
- ・ オンライン受講および録画視聴環境の整備により「病院で使う英会話」「スペイン語」「英検対策クラス」などで受講継続率、参加率が向上した。
- ・ オンラインスキルを活用し、オンラインやハイブリッドで授業を行うことができた。

【開催プログラム】

※：登録人数

開催日	事業種別	クラス・講座名	講師名	回数	延人数
年間	レギュラークラス (32クラス)	パンフレット参照	パンフレット参照	40	154 (※)
年間	プライベート レッスン	英検プライベート、 通訳プライベート 他	山田啓子 施直美他	166	166
年間	セミプライベート レッスン	スペイン語、 英検対策 他	サイモン・ビグロー セシリア仲松 他	13	30
4月	短期講座	英語学びなおしレッスン <夜クラス>	山田啓子 エミリー・ベイリー	1	4
4月	短期講座	ひとつ上を目指す英語 <夜クラス>	山田啓子 エミリー・ベイリー	1	5
4月～5月	短期講座	英検準1級短期講座	山田啓子	7	62
6月～11月	短期講座	英検1級マスタークラス	施直美/長谷川佳代 サイモン・ビグロー	13	36
年間	短期講座	英語で科学を楽しもう	マット・カラシティ	20	106
10月～3月	短期講座	病院で使う英会話	立花みどり	10	38
8月	受託事業	海外子女教育振興財団 (サマースクール)	(8月6～9日)	4	—
5月～2月	オープンクラス	英語で読み解く ニュース&カルチャー (午後)	ジュ・ウジョン クリス・カブレラ ショーン・マーラー	6	49
9月	オープンクラス	オンラインヨガクラス	濱元由紀	1	7

2. 個別に配慮が必要な子どもを支援する事業

子ども支援講演会では初めて託児を設け、支援者だけでなく子育て・孫育て中の申込者も多く集まった。

発達障がいの子どものための支援者養成講座は「理論編」と「実践編」の2講座で行い、それぞれのクラスで延べ92名の参加者があった。「講義（理論）」と「ケース検討（実践）」という二つの内容を同時に学べる機会が希少であるとの声もあり、今後も開催を継続したい。

【開催プログラム】

開催日	事業種別	クラス・講座名	講師名	回数	延人数
8月19日	子ども支援講演会	山下直樹講演会 自己理解からはじまる子どもの個性に合わせた“伝わる「ほめ方・叱り方」” 会場：24名、録画参加：25名	山下直樹 (名古屋短期大学)	1	49
9月～12月	支援者養成講座	発達障がいの子どものための支援者養成講座（支援者のためのベーシック講座・理論編） 登録：15名	山下直樹 (名古屋短期大学)	4	60
		発達障がいの子どものための支援者養成講座（支援者のケーススタディ講座・実践編） 登録：8名		4	32



オンラインヨガクラス
(オープンクラス)



英語で読み解くニュース&カルチャー
(オープンクラス)

3. 外国ルーツの生徒のための通信制高等学校サポート校「名古屋YWCA高等学院 国際コース」



- ・初年度は9名入学したが途中で1名転校したため8名の在籍となった。
- ・単位制通信制高校のYMCA学院高等学校と連携し、高校卒業要件の74単位修得のための学習（レポート提出、スクーリング授業、単位認定テスト）を行った。
- ・8名全員、第1学年に必要な単位を修得し、2年生に進級した。
- ・必修科目の教科講師や日本語の専任講師の募集を行った。
- ・9月から次年度のための学校説明会、個人面談をすすめ、新規入学者20名が決定した。

【クラス概況】

	学期	期間	時間数	取得単位数	クラス数	学生数	国籍
第1学年	前期	4月～9月	414	12	1	8	5
	後期	10月～3月	424	12	1	8	5

【年間スケジュール】

前期	4/9	入学オリエンテーション
	5/27	体育スクーリング（名古屋YWCA ビッグスペース）
	5/31	特別活動：NHK見学
	6/10	体育スクーリング（中生涯学習センター）
	7/11	特別活動：音楽鑑賞（宗次ホール）
	7/29～8/6	スクーリング（名古屋高等学校）
	8/21、22	単位認定テスト（名古屋高等学校）
	8/24	特別活動：名古屋産業大学夏祭り参加
	8/25～9/11	夏休み
後期	9/12	始業式、防災訓練
	10/4、28	体育スクーリング（港生涯学習センター）
	11/8	特別活動：遠足（東山動物園）
	12/21～27、1/11	スクーリング（名古屋高等学校）
	12/28～1/8	冬休み
	1/9	始業式
	2/1、8	単位認定テスト（名古屋高等学校）
	2/3～7	名古屋学院大学生集中ゼミ生と多文化まつり準備
	2/22	多文化まつり
	3/12	年度授業最終日
	3/13～（4/6）	春休み

【その他の取り組み】

- ・生徒の個性や能力について日本語教師と定期的にミーティングを行い、情報を共有した。
- ・12月の日本語能力試験（JLPT）の試験対策と受験のためのサポートを行った。
- ・生徒との個人面談を2カ月に1回、保護者面談を半年に1回開催し、学校生活が円滑に過ごせるようサポートした。
- ・授業料の費用負担が難しい家庭へ貸与奨学金を探す等のサポートをした。
- ・日本語や教科授業の教師をサポートするため、ボランティアサポーターがいくつかの授業に参加した。

【寄付・奨学金】

- ・「特別学習支援金」のための寄付（目標240万）を呼びかけた。
- ・2024年度は入学者全員（8名）に「特別学習支援金」を年額12万円給付した。
- ・2025年度の入学者全員と新2年生3名（応募者から選抜）に年額10万円を「特別学習支援金」として授与することを決定した。



体育の授業(生涯学習センター)



授業の様子



多文化まつり（国際交流会の折り紙教室）



多文化まつり（司会グループ）

IV 日本語教師を養成する事業 [定款第4条(4)]

1. 日本語教師養成事業

- ・日本語教師養成講座では、5年ぶりに一年間通して対面で講座を実施した。
- ・次年度は日本語教育機関認定法に対応した講座の準備のために開講できないため、履修期間を一年に限定し、途中入学は受け入れなかった。
- ・日本語教育機関認定法の施行に伴い、登録日本語教員養成機関、および、登録実践研修機関の申請に向けた準備を進めた。
- ・知多市、一宮市から依頼をうけ、日本語ボランティア養成講座を実施した。

【開催プログラム】

開催月	プログラム名	回数	人数
4月～3月	日本語教師養成講座	135回	23
3月	日本語教師養成講座 修了式	1回	19

【講演、講師】

主催	実施日	内容	参加者数
愛知県国際交流協会	7/3、9/18、 2/25	外国人児童生徒向け教育相談会開催のための 手引き作成検討会	—
知多市国際交流協会	9/29、10/6、 10/13	日本語ボランティア養成講座 多文化共生とことば／地域日本語教室ってどんな ところ？／外国語を話すってどんなキモチ？	30
一宮市国際交流協会	12/21	日本語の教え方セミナー 日本語を外国語としてみると…	42

【修了生の進路】(4月～3月) 計14名

国内学校、その他	人数	海外	人数	進学	人数
名古屋YWCA 学院日本語学校	2	日本語パートナーズ	1	名古屋市立大学大学院	1
名古屋SKY 日本語学校	1			大手前大学 通信教育部	1
名古屋経営会計専門学校	1			日本福祉大学(4年次編入)	1
上山学院日本語学校	1				
ARMS 日本語学校	1				
Nagoya JaLS	1				
名古屋YWCA 高等学院 国際コース	1				
名古屋市内小学校	2				

【教育訓練給付制度対象講座】

日本語教育セミナー 420時間コース	2021年10月1日～2024年9月30日
	2024年10月1日～2024年9月30日

【教育訓練給付制度利用者】5名

【会議】

あいち外国人の日本語教育推進会議 委員

2. 日本に住む外国人の子どもを支援する事業

- ・対面クラス・オンラインクラス共に安定してクラスを開講した。
- ・ガリ勉奨学金では、9名の子どもの申請認定をし、一年間の授業料免除を行った。
- ・小中学生クラス・高校生夜間クラスは8月29日に、高校準備クラス・高校生昼間クラスは9月10日（8月27日予定が台風接近のため延期）にサマーフェスティバルを開催し、スピーチやダンス・歌の発表、楽器演奏などの特技披露を行った。
- ・高校準備クラスでは、高校進学希望の子どもからの問い合わせが相次いだため、教科クラス 入試対策コースで受入れを行った。また、受け入れに関して、他団体との連携も図った。
- ・進学支援として、高校準備クラスで進学ガイダンス（参加者17名 内、保護者6名）を開催した。また、キャリア支援として、小中学生クラス、高校準備クラス、高校生昼間クラス、高校生夜間クラスで先輩の話を聞く会を開催した。
- ・2023年度から愛知県公立高等学校入学者選抜の出願方法がWeb出願となり作業工程が細かく増えたため、コーディネーター、ボランティアスタッフ、職員が一丸となりサポートを行った。
- ・生徒は83名。出身は11の国と地域で、ネパールが最も多く（全体の37.3%）、次いでフィリピン（22.9%）、中国（18.1%）だった。

<グローバルスクール>

教室名/生徒登録者数		1学期	2学期	3学期	夏休み
子ども 日本語 クラス	小中学生クラス	39回	16	19	18
	高校準備クラス	40回	12	18	17
	高校生昼間クラス	39回	17	13	13
	高校生夜間クラス	39回	34	25	19
教科	教科クラス(中学数学)	25回	18		———
	教科クラス(入試対策)	11回	———		27
	教科クラス(数学補講)	3回	———		11
進学サポート	オンライン日本語コース	第1ターム9名(17回)、第2ターム5名(17回)			

参加延べ人数 375人

【スタッフ】 コーディネーター 3名、ボランティア登録 57名（内、学生16名）

*学生ボランティアは、前期に名古屋市立大学の地域日本語教室インターンシップ派遣より2名、後期に名古屋市学生ボランティア派遣より2名の受入れをした。また、前期・後期通して、名古屋学院大学のゼミ生11名の受入れも行った。

【その他の活動】

開催日	内容	相談者数/参加者数
7/27	N I C 進学ガイダンス	13
11/12	学校見学会	13
11/30	学校見学会	9
12/7	学校見学会	2

【進路結果】

進学先	人数	進学先	人数	進学先	人数
私立高校	3	昼間定時制高校	16	N Y A I C	1
公立高校(全日制)	1	夜間定時制高校	11	専門学校	2
		夜間中学校	1	浪人(大学)	1

【外部連携】

日本語ボランティアシンポジウム 2024 ブース出展
 多文化子ども支援者のネットワーキング（第2回） ブース出展



グローバルスクール（サマーフェスティバル）



日本語教師養成講座（教育実習）

3. 日本に住む外国人生活者を支援する事業

- ・ファミリークラスは、オンラインで開催した。
- ・学習者のニーズに合わせてクラス分けをし、少人数での指導を行った。
- ・出産、子育て、教育（保育園、小学校等）について、学習者、ボランティア間で情報共有を行った。
- ・参加者は10名。出身は7国と地域で、ミャンマーが最も多く（全体の40%）、次いで、韓国、アフガニスタン、タイ、オーストラリア、台湾、ブラジル（各10%）だった。

ファミリークラス 子育てと生活の日本語教育

外国人父母のための日本語教室	学期		人数
ファミリークラス	1ターム	14回	4
	2ターム	15回	7
	3ターム	10回	8

【その他の活動】

交流会	9/6	6名
-----	-----	----

【スタッフ】コーディネーター 1名、ボランティア登録 9名（内、大学生1名）

*学生ボランティアは前期・後期通して、名古屋学院大学のゼミ生1名の受入れを行った。

第三国定住難民に対する日本語教育事業（文化庁再委託事業）

- ・愛知県へ定住した第三国定住難民（第10陣、第15陣）に対し、第10陣は対面授業とオンライン授業の両方で、第15陣はオンライン授業を主として日本語教育を行った。
- ・第10陣は5年目となり、日本語教育実施の最終年となった。
- ・第15陣の日本語教育についても委託を受け、10月より5年間の契約を結んだ。
- ・10月27日に外部講師を招き、研修「もしかして発達障がい？ともに学び、つながるために —外国ルーツの子どもの日本語支援—」を対面（録画配信）で開催した。（参加者73名 内、対面参加27名）

	家族数	人数
第10陣	6	20
第15陣	11	17

【スタッフ】コーディネーター 2名、講師 6名

V 日本語学校を運営する事業 [定款第4条(5)]

日本語学校事業

【本科コース】

- ・11月1日付で名古屋出入国在留管理局より、「適正校（クラスⅠ）」（留学生の在籍管理が適正に行われていると認められる教育機関）に選定された。
- ・学生数は、春学期50名、秋学期63名と好調を維持した。出身は延べ18の国と地域であった。最も多いのはネパールであり全体の48.7%を占めた。在留資格は家族滞在が最も多く、58.4%を占めた。進学を希望する10～20代の学生が多く在籍し、大学6名、専門学校7名、高校2名が進学した。希望者全員の進学を決めた。
- ・地域社会とつながる様々な活動を授業に取り入れた。特にJ4（上級）クラスでは、学童保育所への訪問、中区役所でのインターンシップ、中区役所・中警察署職員を招いた授業、近隣企業・団体に働く人にインタビューなどを行った。
- ・日本語教育機関認定法の施行に伴い、認定を受ける準備を進めた。

【別科コース】

- ・春、秋、冬学期は昨年度をやや下回ったため、クラス数を5クラス減らし効率よく運営できた。
- ・午後クラスの希望者が減り、冬学期は1クラスのみであった。
- ・入門クラスは1年を通して好調だった。入門クラスで学習を終えた後、本科コースやNYAICに進む学生も目立った。

【日本語学校奨学金】

- ・春学期は5名（ネパール3名、ペルー・中国各1名）、秋学期7名（ネパール・ペルー各2名、ミャンマー・ブラジル・ベトナム各1名）の学生に奨学金を給付した。

【本科コース】

コース名	学期	期間	時間数	クラス数	学生数	国籍
本科1年課程	春	4月～9月	400	6	50	13
	秋	10月～3月	400	6	63	18

学期		行事
春学期	4/4	春期コース入学オリエンテーション・クラス分け試験
	5/31	遠足（東山動物園）
	7/26	スピーチコンテスト
	8/1～9/1	夏休み
	9/18～24 9/30	期末試験 春期コース卒業・修了式
	10/1～9	秋休み
秋学期	10/10	秋期コース入学オリエンテーション・クラス分け試験
	11/1	健康診断
	12/16	交流パーティー
	12/21～1/5	冬休み
	3/7～13 3/19	期末試験 秋期コース卒業・修了式

【別科コース】

学期	コース名	期間	時間数	クラス数	学生数	合計	国籍
春	別科 午前	4月～7月	69	5	39	59	17
	別科 午後		69	3	20		
	能力試験対策	4月～6月	25～30	4	23	—	13
夏	夏期集中	7月～8月	69	3	37	—	11
秋	別科 午前	9月～12月	69	6	52	73	24
	別科 午後		69	2	21		
	能力試験対策	10月～12月	25～30	2	8	—	5
冬	別科 午前	1月～4月	69	6	64	72	21
	別科 午後		69	1	8		

【会議】

あいち地域日本語教育ネットワーク会議 委員



学童保育を訪問



交流パーティー



文化発表会（民族衣装を着て）



団体で働く人にインタビュー

VI 不動産賃貸等事業 [定款第4条(6)]

不動産賃貸事業

1. 不動産賃貸事業

6階テナントが4月をもって退去したが、管理会社のリーシングにより、7月より新たな入居が決まった。

7階テナントは10月をもって退去となったが、4月より新事業が始まったこと、日本語学校事業が好調のため、教室が不足となり、退去後は内部で使用することとした。各事業部の状況を勘案し、1部屋を間仕切り、3部屋とした。現状のテナントの稼働率は100%となっている。今後もメンテナンスを計画的に行い、ビル価値の維持に努める。

支出においては、前年に引き続き、高圧受電設備(遮断機等)の更新工事を行った。この事業の主たる目的である公益目的事業へのみなし寄付は、2,081万円となった。

YWCABビルは、築後35年が経過しており、今後も様々な設備の取替や、修繕が予想される。長期修繕計画のもと、特別修繕積立金、受変電更新積立金を活用しながら、管理、運営を行っていく予定である。

2. 外部会議室利用

室・器具使用料収益(貸室)は、日曜日を閉館としたこと、また、内部使用が多いことから、前年に比べ、外部への貸出しが減少した。

	利用回数(のべ)			利用人数(のべ)		
	外部 (注1)	運営協力 (注2)	合計	外部 (注1)	運営協力 (注2)	合計
ビッグスペース	3	2	5	140	60	200
会議室	37	12	49	424	355	779

(注1) 非営利・営利の個人及び団体等 (注2) 施設維持の協力団体

VII その他この法人の目的を達するために必要な事業 [定款第4条(7)]

新聞委員会/広報ファンドレイジング委員会

1. 新聞委員会

名古屋YWC Aの活動を幅広く知ってもらうため、またYWC Aの会員の情報の共有のために、2ヶ月に一度、A4版8頁の機関紙を発行し、1回につき約400の個人・団体に発送した。

◇機関紙 広告協力企業等

愛知国際病院、恵沢法律事務所、司法書士事務所ひらら、ヘア&メイクポアソンレヴール

◇機関紙配布先

会員・会友、賛助会員、各市YWC A、関係団体、クラス生徒・講師、講座・プログラム参加者 等



最近では、5面を新聞委員会が担当しており、「機関紙でたどる名古屋YWC Aヒストリー」(2022年8.9月号～2024年4.5月号)のあと、おすすめ本を紹介する「私の推しの1冊」を連載した。

	記事内容			
	1・2面	3・4面	5・6・7面	8面
4、5月号	<ul style="list-style-type: none"> ・今月の聖句 ・第49回2.11 平和集会報告(杉山愛葵いぶき) ・2023年度全体集会報告 ・90周年記念感謝報告(山田由美子) ・会費納入のお願い ・ボランティア活動保険加入手続き 	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄スタディツアー報告(矢野真里奈) ・名古屋YWCAビルが大規模地震発生時の一時退避場所に指定(会館管理委員会) ・大鍋カレーの日予告 ・聖書に聞く(神山美奈子) ・キリ基読書会、ハーブコンサート予告 	<ul style="list-style-type: none"> ・機関紙でたどる名古屋YWCAヒストリー(WCNY) ・WCNY ・語学・教育部 ・日本語学校 ・日本語教師養成講座 	<ul style="list-style-type: none"> ・からしだね(堀部朋美) ・理事会報告 ・運営委員会報告 ・新入会員 ・寄付者 ・人事異動・訃報 ・寄付のお願い ・BOOKフェス予告 ・2階ロビー販売
6、7月号	<ul style="list-style-type: none"> ・今月の聖句 ・創立90周年を終えて、100年へのスタート(松村真理子) ・PEACE MOMOワークショップに参加(島田幸子) ・会員インタビュー動画紹介(広報ファンドレイジング委員会) 	<ul style="list-style-type: none"> ・日韓ユースカンファレンス報告(三上奈桜) ・大鍋カレーの日報告(広報ファンドレイジング委員会) ・聖書に聞く(神山美奈子) ・教えてMIHOちゃん 	<ul style="list-style-type: none"> ・私の推しの1冊(堀田朋樹) ・BOOKフェス予告 ・WCNY ・語学・教育部 ・日本語学校 ・日本語教師養成講座 	<ul style="list-style-type: none"> ・からしだね(高橋夏代) ・評議員会報告 ・理事会報告 ・運営委員会報告 ・新入会員 ・賛助会員・寄付者 ・寄付のお願い ・平和集会実行委員会募集 ・パープルサポート報告 ・2階ロビー販売
8、9月号	<ul style="list-style-type: none"> ・今月の聖句 ・「Z世代」の若者と考える平和(竹内佐和子) ・三宅百合子ハーブコンサート報告(ヨシミミドリ) ・まるっと沖縄DAY予告 ・2024年度体制 	<ul style="list-style-type: none"> ・BOOKフェス報告(広報ファンドレイジング委員会) ・グループ紹介「100年サロン」 ・聖書に聞く(神山美奈子) ・運営委員等候補者推薦のお願い 	<ul style="list-style-type: none"> ・私の推しの1冊(花島敦子) ・スクエアステップのお知らせ ・WCNY ・語学・教育部 ・日本語学校 ・日本語教師養成講座 	<ul style="list-style-type: none"> ・からしだね(平川幸子) ・評議員会、理事会報告 ・運営委員会報告 ・新会員 ・賛助会費・寄付者 ・寄付のお願い ・大鍋カレーの日予告 ・2階ロビー販売
10、11月号	<ul style="list-style-type: none"> ・今月の聖句 ・災害 防災とSDGs(湯前知子) ・「平和教育体験会」報告(西野陽子) ・愛知サマーセミナー報告(桜井凜理) 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ紹介「とまり木」 ・GSサマーフェスティバル報告 ・クリスマスをとものに予告 ・YWCA-YMCA合同祈禱週予告 ・聖書に聞く(神山美奈子) ・教えてMIHOちゃん 	<ul style="list-style-type: none"> ・私の推しの1冊(吉兼亜古) ・まるっと沖縄DAY予告 ・WCNY ・語学・教育部 ・日本語学校 ・日本語教師養成講座 	<ul style="list-style-type: none"> ・からしだね(近藤八津子) ・理事会報告 ・運営委員会報告 ・寄付者・賛助員 ・寄付のお願い ・運営委員等候補者推薦のお願い ・オリジナルエコバッグ広告 ・2階ロビー販売

	記事内容			
	1・2面	3・4面	5・6・7面	8面
12、1月号	<ul style="list-style-type: none"> ・今月の聖句 ・クリスマスメッセージ「クリスマスだからこそ」(草地大作) ・まるっと沖縄DAY報告(講演会:六車絵梨子/三線演奏とお話+琉球古典舞踊:広報ファンダレイジング委員会) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「日本語サロン」報告(木山美由紀) ・「クリスマスをともし」お知らせ ・防災訓練 煙体験報告(会館管理) ・大鍋カレーの日報報告(広報委員会) ・クリスマス会予告 ・2.11 平和集会予告 ・クリスマス寄付お願い ・クッキーケーキ販売予告 	<ul style="list-style-type: none"> ・私の推しの1冊(石垣裕子) ・オリジナルエコバッグ宣伝 ・多文化まつり予告 ・WCNY ・語学・教育部 ・日本語学校 ・日本語教師養成講座 	<ul style="list-style-type: none"> ・からしだね(山添友紀子) ・理事会報告 ・運営委員会報告 ・新入会員 ・賛助員 ・寄付者 ・寄付のお願い ・モノドネ ・youtube 宣伝 ・「とまり木」告知 ・冬期休館のお知らせ ・2階ロビー販売
2、3月号	<ul style="list-style-type: none"> ・今月の聖句 ・ハンガン文学の魅力(崔正美) ・クリスマスとともに報告(脇田純子) ・合同祈祷週報告(田中真希子) ・全体集会告知 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国会員総会報告(吉澤道子) ・2.11 平和集会予告 ・「全国女性教職員学習交流会 in 愛知」報告(二宮由布子) ・聖書に聞く(神山美奈子) ・クリスマス寄付感謝報告 	<ul style="list-style-type: none"> ・私の推しの1冊(岩田えり子) ・多文化まつり予告 ・WCNY ・語学・教育部 ・日本語学校 ・日本語教師養成講座 	<ul style="list-style-type: none"> ・からしだね(松井かづ子) ・理事会報告 ・運営委員会報告 ・新入会員・賛助員 ・寄付者 ・寄付のお願い ・「ちっちゃくバザー」予告 ・2階ロビー販売

2. 広報ファンダレイジング委員会

名古屋YWC Aビルが大規模地震発生時の一時退避場所に指定されたこともあり、かねてより考えていた炊き出し練習を兼ねた「大鍋カレーの日」を始めた。

災害などで名古屋YWC Aビルに避難することになった時に、ビル内にいる人で炊き出しができるようにレシピを整え、材料を揃えておき、材料のローリングストックと近隣に勤める人たちへの告知のために行う(おいしいね部)。

今年度は4月と9月に行ったが、いずれの時も用意した40~50食は20分程でなくなった。運営のためのカンパで1皿300円以上の寄付をお願いしているが、多く寄付してくれる人がいるため収支ほぼ同額であった。物価高騰で厳しいが、この活動はファンダレイジングが目的ではないため、このまま継続する予定。

「まるっと沖縄DAY」では第1部「三線演奏とお話」を担当。平良一器さんのお話のほか琉球古典舞踊の披露もあり、おいしいね部の「沖縄ランチ」も好評で、楽しいイベントとなった。

最後のバザーから6年経ち、要望も多いため、「今、できるバザーをしよう」と規模を小さくして「ちっちゃくバザー」を行った。内容は「リサイクル衣料」「雑貨市」おいしいね部の「キッシュBAR+スープ」と「コーヒースタンド」、協賛企業からの寄付品などを景品にした「ハッピーくじ」、「スクエアステップ体験会」で、働き人25人の協力を得て、効率よく実施できた。

恒例になった「BOOKフェス」は、古本市と文学カフェを中心に催し、広報とファンダレイジングを行った。

おいしいね部は「大鍋カレーの日」を始めたこともあり、「おいしいねの日」を行うことができなかったが、寄付された金柑や梅などを調理し、その時々販売した。クリスマスに販売する「クッキー&ケーキ」、イベントのランチなどはいつも通り担当し、ファンダレイジングに貢献した。

今年度、広報ファンダレイジング委員会が集めた約70万円は各事業に分配した。



「大鍋カレーの日」のシンボルキャラクター

○女性と子どもの幸せ活動のための「BOOKフェス」6月8日(金)、10日(月)

ファンドレイジング額：177,280円

内容：古本市、文学カフェ、「推しの1冊」動画放映、かぎ針編みのしおりワークショップ

入場者(本の購入者)：8日 79名、10日(午前のみ) 20名

文学カフェテーマ：赤ずきんちゃんのバスケット(グリム童話)

*ヘンゼルとグレーテルのお菓子の家をクッキーで作り、会場に飾った。

*収益から「グローバルスクール」と「女性のための相談支援」へ
30,000円ずつ分配した。



お菓子の家

○ほんのひと部屋 ちっちゃくバザー 3月21日(金)

ファンドレイジング額：100,450円 来場者：約60名

内容：リサイクル衣料、雑貨市、キッシュBAR+スープ、

コーヒースタンド、ハッピーくじ、スクエアステップ体験会

働き人：25名

- ・リサイクル衣料部 寄付された衣料をロビー(ビッグスペース前のラック)に置いて通年販売した。

毎月第3火曜日午前(変更の場合あり)に値付けや入れ替えを行った。ファンドレイジング額：156,220円
クリスマスミニバザーに参加した。

※寄付されたアクセサリー3点を買取りに出したところ、3点で797,912円になった。寄付として入金した。

- ・お花畑部 名古屋YWC Aビル1階のプランターの植替え、水やりなど、管理を行った。
- ・放送部 YouTubeライブ配信「ワイドボワンダフルチャンネル」 不定期 8回実施



youtubeライブ配信
ワイドボワンダフルチャンネル

- ・アップサイクル部 販売できないリサイクル衣料をアップサイクルして販売した。

クリスマスミニバザーに参加。ファンドレイジング額：6,600円

- ・おいしいね部 偶数月に1回開催予定の「おいしいねの日」は、「大鍋カレーの日」を始めたこともあり実施できなかったが、寄付された金柑、ルバーブ、梅を加工して、その都度販売した。

4月：きんかんジャム、きんかん漢方煮

5月：ルバーブジャム

6月：梅の紅茶煮、梅の紅茶シロップ

「大鍋カレーの日」鶏ミンチとひよこ豆のスパイスカレー

4月23日(火) 40食 カンパ：20,870円

9月12日(木) 50食 カンパ：22,742円

クリスマス「クッキー、ケーキ販売」12月14日(土)

ファンドレイジング額：167,936円

○オリジナル広報グッズ

エコバッグ 1個 880円で販売。



オリジナルエコバッグ 全6色

- * 11月1日～4日に開催された「久屋ぐるっとアート」(久屋ぐるっとアート事務局 愛知県芸術劇場内主催)に参加。シールラリーのシール配布を行った。1日、2日のみの参加で39名の来訪があった。

- まるっと沖縄DAY キリスト教基盤部会と共催 10月19日(土)
第1部と「沖縄ランチ」を担当した。
第1部「平良一器さんの三線演奏とお話+琉球古典舞踊」
11:00～11:45 参加63名
*ランチ 44食 ファンドレイジング額：約40,000円



ジューシー、フーチャンプルー、もずくの味噌汁など「沖縄ランチ」



平良一器さん↑



琉球古典舞踊

○思い出インタビュー

これまでに行ってきた活動などについて思い出を話してもらい、会員のインタビュー動画を作成した。名古屋YWCA公式youtubeチャンネルで公開。

- 脇田純子さん編 「少女部」・「マザーズカレッジ」
- 山崎京子さん編 青春の「労働センター」
- 横澤生子さん編 「スープキッチン」の始まり



脇田さん編



山崎さん編



横澤さん編



youtube で公開



レッツ！スクエアステップ

・スクエアステップ部

高齢者の転倒防止、介護予防、認知機能向上、体力づくりを目的に「スクエアステップ」を実施。
参加費：1回600円 *1月は雪のため中止

プログラム名	主催	実施日	参加延人数
レッツ！スクエアステップ	スクエアステップ部	4/14、5/12、6/14、7/12、8/9、9/12、10/11、11/8、12/13、2/14、3/14	53

会館管理委員会

施設設備及び建築の専門家を会館管理アドバイザーとして2名迎え、専門家のアドバイスを元に日常的な会館の維持・管理・運営を行った。

【修繕工事】

- ・受変電設備改修工事（トランス等）
- ・3階、6階（専有部）全熱交換機取替工事
- ・2階OAダクト改修工事
- ・消防設備工事 等

【その他】

- ・中消防署に協力を仰ぎ、火災時に特化した避難訓練を行った。テナント、日本語学校学生、NYAIC生徒、会員、職員など82名の参加があった。



避難訓練（煙体験）

人事委員会

今年度は、主に以下の事案について理事会に報告・提案を行った。

- ・36協定の更新
- ・専任講師就業規則及び嘱託職員規程の改訂
- ・退職制度について
- ・職員研修について
- ・職員、専任講師採用について
- ・2025年度職務分担

コンプライアンス委員会

案件なし



2024年度運営委員
後列左から 武藤さくら、吉澤道子（職員）、松村真理子（会長）、
後藤尚子、西田文乃（総幹事）
前列左から 二宮由布子（副会長）、島田幸子

会員・会友・賛助会員・寄付・助成金等

■会員・会友 3月31日現在

	新入会	再入会	退会	自動退会	会員(友)数
会員	10	1	14	5	182
会友	2	0	0	0	13

■賛助会員

◆法人 3社

イワジン真珠有限会社、鹿島建物総合管理株式会社、三輪税理士事務所

◆個人 9名

荻須恵子、鶴崎祥子、鈴木詔明、谷川いづみ、桑原晶子、河野登喜子、落合建仁、井上摩耶子、池上昌子

■寄付

◆寄付者

【個人 YWCA会員含む】

赤澤ヒロ子、荒川佳都子、安藤豊子、飯野充子、池上昌子、石垣裕子、磯村美保子、井上摩耶子、今枝ミサ子、猪村礼子、岩田えり子、岩本邦、大久保素子、大崎康子、岡田淳子、春日玲子、河野登喜子、木村艶子、國枝京子、小谷充子、小松友子、小宮一子、近藤眞由美、後藤尚子、坂田昌子、渋谷恒子、鈴木しず子、諏訪昭子、田中万寿、鶴崎祥子、朽久保滯子、長縄光子、長橋美保、永山峯子、夏目とよ子、西山節子、野崎典子、羽佐田美千代、蓮尾陽子、堀尾純子、水谷廣子、宮内貞子、宮治陽子、馬上貴美子、安田寛子、山崎京子、横井邦子、横江順子、ヨシミミドリ、脇田純子、森山恭子、日高伴子、中辻千代江、新倉春美、西田文乃、木村繁子、小林るり子、吉澤道子、松村真理子、小林久子、小野智子、伊藤信子、倉地節子、納戸道子、近藤八津子、栗山義久、河野美津子、松村桂子、吉兼亜古、豊田峯子、荒川彩美、谷川いづみ、岩田玲子、平野直子、岩城孝子、伊藤嘉奈子、池田富代、田中千穂、轡田容子、朴貞蘭、新海美佳、山下直樹、吉田直美、田中眞希子、浦山郁子、神山美奈子、富永奈保子、富谷千里、後藤聡子、祖父江修、小崎美和、野口智子、三輪敏明、長谷川直春、柴田康博、鈴木詔明、武岡路実、犬飼礼、高見澤ユリ、木山美由紀、増田いづみ、今岡敏子、水谷栄太郎、中村隆、竹内佐和子、湧井規子、田中麻子、大槻千春、六車絵梨子、小野絹代、古田直美、立松智子、塚本浩美、木下善雄、間瀬勘也、青柴さよ子、長屋頼子、夏目満雄、落合建仁、平良一器、伊藤佳織、富谷進、近藤昭司、伊藤久子、國枝秀世
匿名 28名

【企業・団体】

イワジン真珠有限会社、鹿島建物総合管理株式会社、名古屋和合ロータリークラブ、日本キリスト教団南山教会、日本基督教団東海教会、旧日本軍による性的被害女性を支える会、The Cross-Cultural Exchange Association Nagoya



サイレントピースアクション

【法人 寄付】

通年	一般寄付	1,542,655 円
通年	受取維持費	141,019 円
通年	受取運営協力金	299,670 円

合計 1,983,344 円

【ボランティア事業 寄付】

通年	運営委員会（クリスマス、2.11 平和集会、能登半島地震被災者支援募金、C S W参加補助）	652,332 円
通年	部会（キリスト教基盤、青少年）	23,500 円
通年	グループ	224,178 円

合計 900,010 円

【女性のための相談・支援事業 寄付】

通年	パープルサポート（暴力被害者への無料カウンセリング）	486,220 円
通年	女性のための相談・支援事業 指定寄付	31,000 円

合計 517,220 円

【語学教育事業 寄付】

通年	サポート校 特別学習支援金	個人 50 名、団体 1 件	1,152,244 円
----	---------------	----------------	-------------

【日本語教師養成事業 寄付】

通年	グローバルスクール 子ども日本語クラス	個人 21 名、団体 1 件	376,000 円
通年	グローバルスクール ファミリークラス	個人 1 名、団体 1 件	12,000 円

合計 388,000 円

【日本語学校事業 寄付】

通年	日本語学校奨学金基金	個人 37 名	482,000 円
----	------------	---------	-----------

合計 482,000 円

【法人 物品寄付】

寄付者	内容
近藤真由美	和紙ちぎり絵作品
匿名	リサイクル衣料、雑貨類、BOOKフェスへの本、CD、DVD

【ボランティア事業 物品寄付】

寄付者	対象プログラム	内容
匿名	スープキッチン	野菜、食材、フードパック、防寒用具

【日本語教師養成事業 物品寄付】

寄付者	対象プログラム	内容
個人 3 名	グローバルスクール	本、食品

■補助金・助成金

【ボランティア事業】

団体名	対象プログラム	金額
社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会	女性たちの居場所「とまり木」	22,000 円

【日本語教師養成事業】

団体名	対象プログラム	金額
公益財団法人愛知県国際交流協会 日本語学習支援基金 日本語教室学習支援事業助成金	グローバルスクール	492,550 円

【日本語学校事業】

団体名	対象プログラム	金額
名古屋市（補助金）	日本語学校学生 結核検診	32,853 円

世界YWCA・日本YWCA他

■世界YWCA

4月24日	世界YWCA日デー 2024
11月10～16日	世界YMCA・世界YWCA合同祈祷週
3月9～15日	C SW（国連女性の地位委員会）

■日本YWCA

5月25日	加盟YWCA中央委員会（西南学院中学校・高等学校にて）
11月23、24日	全国会員総会
毎月1回	総幹事会（オンライン開催あり）

■関係団体

伏見・栄地区安全確保計画部会（名古屋市）、あいち広域ボランティア・NPO支援本部、愛知県青少年育成県民会議、名古屋市男女平等参画推進会議、公益財団法人愛知県国際交流協会、公益財団法人アジア保健研修所、公益財団法人名古屋YMCA、公益社団法人日本語教育学会、社会福祉法人名古屋キリスト教社会館、名古屋キリスト教協議会、あいち沖縄会議、認定特定非営利活動法人名古屋NGOセンター、特定非営利活動法人日本フェミニストカウンセリング学会、秘密法と共謀罪に反対する愛知の会、YMCA学院高等学校（大阪YMCA）、未来につなげる・東海ネット、性暴力禁止法をつくろうネットワーク、東海日本語ネットワーク、東海キリスト者災害ネット（TCDN）

■役員等

- ・公益財団法人アジア保健研修所 評議員
- ・社会福祉法人名古屋キリスト教社会館 評議員
- ・名古屋市男女平等参画推進会議 委員

会議等

■評議員会

任期 2023年6月9日～2027年6月評議員会まで

<評議員>

神山美奈子、草地大作、後藤由起、雑賀正浩、榊原千鶴、富澤孝、中村隆、長屋頼子、湧井規子、和田芳子

開催日	報告事項	審議事項	人数
6月13日 定時	2024年度主要事業報告 名古屋YWCA高等学院国際コース報告	2023年度事業報告案承認の件 2023年度決算案承認の件	7
3月12日 臨時	2024年度主要事業報告 名古屋YWCA高等学院国際コース事業報告	2025年度事業計画案承認の件 2025年度収支予算案承認の件	9

■理事会

任期 2023年6月22日～2025年6月評議員会まで

代表理事 加藤佐紀子

業務執行理事（事務局長）西田文乃

業務執行理事 岩田えり子、吉兼亜古

理事 小野智子、國枝京子、谷川いづみ、堀尾純子

監事 岡田淳子、羽佐田美千代

開催日	報告事項	審議事項	人数
5月29日 第1回通常	<ul style="list-style-type: none"> ・日本YWCA ・2023年度臨時評議員会報告 ・運営委員会 ・不動産賃貸事業・会館管理 ・人事委員会 ・2023年度管理費決算 ・語学・教育部事業 ・日本語学校 	<ul style="list-style-type: none"> ・2023年度事業報告案承認 ・2023年度決算案承認 ・7階空室の利用 ・日本語教師養成事業部の今後 ・総幹事選考委員会の立ち上げ ・鹿島建設とのビルの境界の壁 	9
7月31日 第1回臨時	<ul style="list-style-type: none"> ・日本YWCA ・2024年4～6月事業 ・2024年4～6月会計 ・運営委員会 ・不動産賃貸・会館管理事業 ・人事委員会 ・2023年度事業報告等電子申請完了 	<ul style="list-style-type: none"> ・建物賃借会社との契約更新 ・公益財団法人の認定等に関する法律の一部を改正する法律 	7
10月30日 第2回臨時	<ul style="list-style-type: none"> ・日本YWCA ・2024年7～9月事業 ・2024年7～9月会計 ・運営委員会 ・不動産賃貸事業、会館管理 ・人事委員会 ・他団体からの申し入れについて 	<ul style="list-style-type: none"> ・7階内部使用のための改修工事見積金額 ・地下テナント退去後のリーシング方針 ・会館の管理業務契約 ・2024年度推定決算 ・2025年度予算方針 ・2025年度主管管理費予算 ・総幹事選考について 	10

開催日	報告事項	審議事項	人数
12月18日 第3回臨時	<ul style="list-style-type: none"> ・日本YWCA ・運営委員会 ・不動産賃貸事業、会館管理 ・人事委員会 ・総幹事選考委員会 ・日本語学校 	<ul style="list-style-type: none"> ・特定資産の受電設備更新積立資産の取り崩し ・2024年度推定決算及び2025年度予算案 ・「認定日本語教育機関」認定申請 ・日本語学校学則改訂 ・2025年3月臨時評議員会開催の件 ・名古屋YWCA中期計画（5年間）並びに組織課題検討 	9
1月29日 第2回通常	<ul style="list-style-type: none"> ・日本YWCA ・2024年度10月～12月事業 ・2024年度10月～12月会計 ・運営委員会 ・不動産賃貸事業、会館管理 ・人事委員会 ・広報ファンドレイジング委員会 	<ul style="list-style-type: none"> ・2025年度事業計画案 ・2024年度推定決算及び2025年度予算案 ・2024年度全体集会報告 ・名古屋YWCA中期計画（5年間）並びに組織課題検討 ・顧問弁護士契約 ・顧問税理士事務所契約 ・2025年度定時評議員会開催の件 	10

■ガバナンス強化策

1. コンプライアンス規程

コンプライアンス規程を2018年に制定し、職員、専門相談員、会員、顧問弁護士の計4名で構成される相談窓口を設置している。

2. 子どもとユースのセーフガーディング・ポリシー

「子どもとユースの安全と権利を保護するためのセーフガーディング・ポリシー」を2022年に策定している。



能登半島地震チャリティー
三宅百合子ハープコンサート
主催：歌の会ラルゴ

BOOKフェス



古本市



文学カフェ (ランチ)
テーマ: 赤ずきんのバスケット (グリム童話)



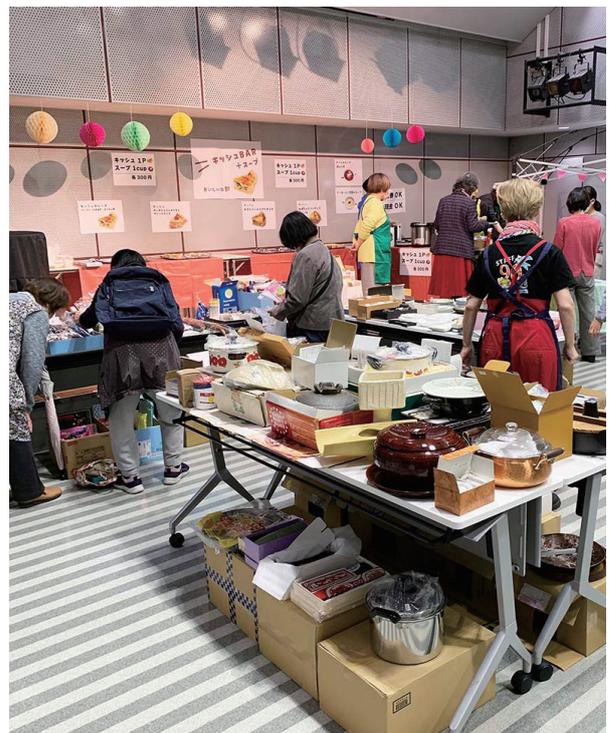
大鍋カレーの日



ちっちゃくバザー



キッシュBAR+スープ





隣接ビルの新築工事

2020年から始まった、名古屋YWC Aビルに隣接する第一生命保険株式会社、鹿島建設株式会社、株式会社ノリタケカンパニーリミテド、3社共同でのオフィスビル「Sakae Trid Square サカエトリッドスクエア」の工事は基礎工事が終了し、躯体工事に移行した。着々と高くなっており、名古屋YWC Aビルが小さくなってしまった。

今年度は騒音や振動による被害は少なかった。

地上19階、地下1階の大型オフィスビルは2026年3月に完成予定。

7階に新しい教室

7階のテナントが10月で退去したが、サポート校や日本語学校の教室が不足したため、内部で使用する事とした。

1部屋を3つに間仕切りし、大きい部屋から701号室、702号室、703号室とした。

壁にはマグネットシートのホワイトボードを設置し、大きく使えるようにした。また、各部屋にインターネットの設備とモニターを設置し、オンラインにも対応できるように整備した。



一番広い701号室

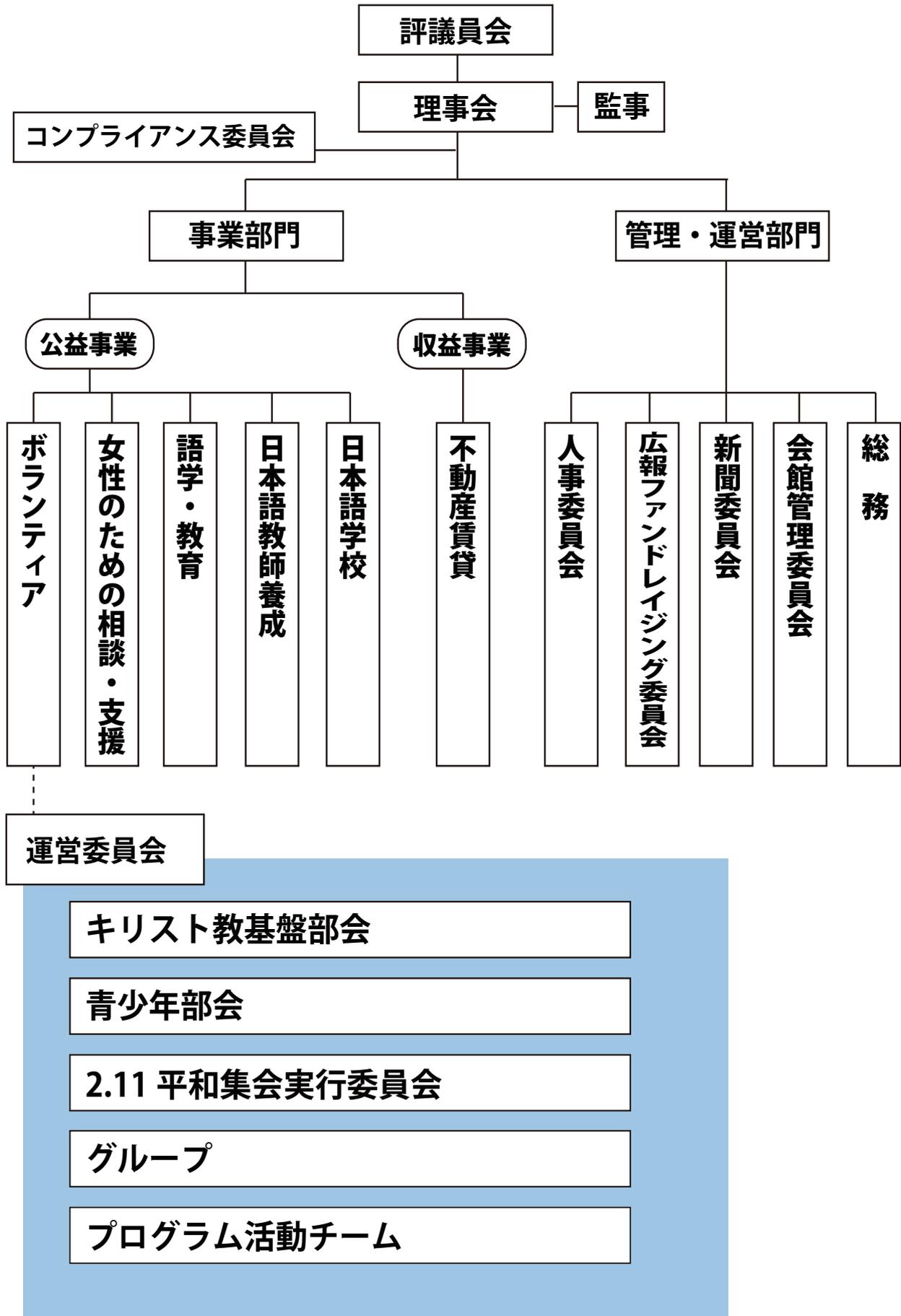


入口から見た703号室

<職員>

総幹事（事務局長）		西田 文乃
幹事	ボランティア事業部責任者、コンプライアンス 女性のための相談・支援事業部責任者 語学・教育事業部責任者 語学・教育部 語学・教育部 日本語教師養成事業部責任者 日本語教師養成事業部 日本語学校事業部 日本語学校事業部 財務責任者、労務、総務、不動産賃貸事業部 広報ファンドレイジング・新聞、総合受付	吉澤（岡）道子 岩田 えり子 朴 亜紀子 轡田 容子 渡邊 洋美 和田 貴子（4月まで） 河瀬 菜緒美 本多 淑子 山添 友紀子 吉兼 亜古 下方 タ子
校長（非常勤） 専任講師	日本語学校事業部 日本語学校事業部	磯村（羽生）美保子 谷山（神谷）文子 久田 かおり 堀部（堀井）朋美
パートタイマー	日本語教師養成事業部 日本語学校事業部 語学教育事業部 総合受付 会計	岩崎 陽子 ウイルソン 桂子 加藤 智恵子 鷺谷 玲子 高橋 夏代 疋田 絵津 藤原 美紀 米倉 由光 秋田 直美 寺田 恵子 間宮 由貴江（7月まで） 翁長 直美 成瀬 友美 伊藤 嘉奈子 井上 圭輝 麻生あゆみ（10月から） 中島 優子

公益財団法人名古屋YWCA組織図



貸借対照表

2025年03月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
(1) 現金預金			
現金	2,366,211	2,486,225	△120,014
普通預金	154,824,754	169,469,954	△14,645,200
定期預金	70,000,000	70,000,000	0
現金預金合計	227,190,965	241,956,179	△14,765,214
(2) その他流動資産			
商品	321,768	272,387	49,381
立替金	1,266,806	0	1,266,806
未収金	47,148,911	49,042,661	△1,893,750
前払金	427,690	1,340,637	△912,947
繰延税金資産	654,613	763,688	△109,075
その他流動資産合計	49,819,788	51,419,373	△1,599,585
流動資産合計	277,010,753	293,375,552	△16,364,799
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
土地	19,109,000	19,109,000	0
基本財産合計	19,109,000	19,109,000	0
(2) 特定資産			
奨学基金特定資産	9,523,092	10,097,943	△574,851
特別修繕引当特定資産	66,900,000	62,300,000	4,600,000
管理目的保有特定資産	9,993,557	7,902,560	2,090,997
受電設備更新積立資産	9,622,752	16,324,000	△6,701,248
特定資産合計	96,039,401	96,624,503	△585,102
(3) その他固定資産			
建物	219,843,702	229,711,269	△9,867,567
建物付属設備	59,795,368	39,026,802	20,768,566
構築物	119,149	133,724	△14,575
什器備品	5,979,589	6,816,935	△837,346
図書	816,130	816,130	0
ソフトウェア	142,918	450,581	△307,663
電話加入権	238,008	238,008	0
保証金	20,000	20,000	0
繰延税金資産	19,347,060	18,012,780	1,334,280
その他固定資産合計	306,301,924	295,226,229	11,075,695
固定資産合計	421,450,325	410,959,732	10,490,593
資産合計	698,461,078	704,335,284	△5,874,206
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	51,518,242	56,979,561	△5,461,319
前受金	28,307,731	29,310,609	△1,002,878
預り金	1,931,177	2,913,380	△982,203
賞与引当金	2,349,977	2,152,782	197,195
未払法人税等	6,502,000	7,811,100	△1,309,100
流動負債合計	90,609,127	99,167,432	△8,558,305
2. 固定負債			
預り敷金	67,258,720	70,880,800	△3,622,080
特別修繕引当金	66,900,000	62,300,000	4,600,000
固定負債合計	134,158,720	133,180,800	977,920
負債合計	224,767,847	232,348,232	△7,580,385
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
受取寄附金	5,027,408	4,993,557	33,851
受贈土地	19,109,000	19,109,000	0
指定正味財産合計	24,136,408	24,102,557	33,851
(うち基本財産への充当額)	(19,109,000)	(19,109,000)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	449,556,823	447,884,495	1,672,328
(うち特定資産への充当額)	(24,111,993)	(29,330,946)	(△5,218,953)
正味財産合計	473,693,231	471,987,052	1,706,179
負債及び正味財産合計	698,461,078	704,335,284	△5,874,206

正味財産増減計算書

2024年04月01日から 2025年03月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益			
特定資産受取利息	11,496	1,519	9,977
特定資産運用益計	11,496	1,519	9,977
受取会費			
正会員受取会費	1,250,000	1,358,000	△108,000
賛助会員受取会費	57,000	15,000	42,000
受取会友費	85,000	77,000	8,000
受取会費計	1,392,000	1,450,000	△58,000
事業収益			
受取プログラム	1,498,723	1,991,190	△492,467
受取カウンセリング	2,380,070	2,681,195	△301,125
受託事業収益	12,553,306	25,610,269	△13,056,963
子ども学習支援収益	1,294,290	1,932,332	△638,042
受取入学検定料	549,800	429,600	120,200
受取入学金	2,502,400	2,138,300	364,100
受取授業料	61,306,117	56,887,609	4,418,508
受取設備維持料	654,660	588,000	66,660
受取教材料	4,842,382	4,381,753	460,629
受取別科申込金	984,000	1,046,000	△62,000
受取別科授業料	18,026,650	21,874,173	△3,847,523
受取教材販売	748,170	965,800	△217,630
サポート校収益	7,513,575	0	7,513,575
貸貸料収益	100,795,154	104,988,596	△4,193,442
室・器具使用料収益	2,790,120	2,823,998	△33,878
その他収益	493,094	565,009	△71,915
事業収益計	218,932,511	228,903,824	△9,971,313
受取補助金等			
受取補助金等振替額	32,853	24,640	8,213
受取民間助成金振替額	514,550	1,257,450	△742,900
受取補助金等計	547,403	1,282,090	△734,687
受取寄付金			
受取一般寄付金	1,542,655	230,435	1,312,220
受取寄付金振替額	3,846,312	4,699,845	△853,533
受取寄付金計	5,388,967	4,930,280	458,687
雑収益			
受取利息	6,600	1,375	5,225
雑収益	5,015,631	5,697,226	△681,595
雑収益計	5,022,231	5,698,601	△676,370
経常収益計	231,294,608	242,266,314	△10,971,706
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	31,452,191	32,469,368	△1,017,177
雑給	9,646,312	10,601,277	△954,965
福利厚生費	10,102,463	10,993,150	△890,687
賞与引当金繰入額	2,227,617	2,040,186	187,431
特別修繕引当金繰入額	4,552,192	4,558,127	△5,935
講師費	47,431,902	47,633,295	△201,393
講師交通費	3,431,474	3,981,661	△550,187
教材費	1,392,883	1,926,964	△534,081
教材研究費	83,791	52,978	30,813
図書費	93,536	37,620	55,916
プログラム費	16,171,844	11,283,285	4,888,559

正味財産増減計算書

2024年04月01日から 2025年03月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
子ども学習支援費	2,427,103	2,920,437	△493,334
広告宣伝費	1,983,318	1,817,928	165,390
会議費	269,679	244,849	24,830
旅費交通費	283,431	292,539	△9,108
事務費	530,236	895,311	△365,075
通信費	1,350,827	1,105,287	245,540
資料研修費	175,759	149,217	26,542
指導者養成費	125,587	230,771	△105,184
関係団体費	46,000	44,000	2,000
支払名古屋Y機関紙	302,587	278,582	24,005
管理委託費	19,451,318	19,559,448	△108,130
減価償却費	16,400,087	16,310,696	89,391
消耗什器備品費	2,287,660	1,515,122	772,538
修繕費	728,302	5,646,995	△4,918,693
光熱水料費	5,792,905	5,909,395	△116,490
保険料	836,467	822,959	13,508
租税公課	15,697,684	14,752,147	945,537
支払寄付金	364,644	754,131	△389,487
奨学金	1,057,680	669,421	388,259
報酬手数料	6,806,197	6,027,449	778,748
消費税	10,739,888	13,202,001	△2,462,113
雑費	1,318,890	975,073	343,817
予備費	0	0	0
雑損失	673,200	0	673,200
事業費計	216,235,654	219,701,669	△3,466,015
管理費			
給料手当	2,470,092	2,177,885	292,207
雑給	522,349	820,997	△298,648
福利厚生費	822,307	758,832	63,475
賞与引当金繰入額	122,360	112,596	9,764
特別修繕引当金繰入額	47,808	41,873	5,935
会議費	70,071	74,207	△4,136
広告宣伝費	52,208	41,177	11,031
旅費交通費	251,681	300,418	△48,737
事務費	13,379	10,790	2,589
通信費	24,605	14,208	10,397
資料研修費	0	990	△990
指導者養成費	7,283	6,514	769
関係団体費	59,228	83,670	△24,442
支払負担金	292,400	312,800	△20,400
支払名古屋Y機関紙	43,225	39,797	3,428
支払日本Y加盟費	1,937,000	1,763,000	174,000
管理委託費	422,982	301,191	121,791
減価償却費	136,572	195,300	△58,728
消耗什器備品費	182,286	165,035	17,251
修繕費	49,398	106,636	△57,238
光熱水料費	122,442	96,631	25,811
保険料	13,507	11,831	1,676
租税公課	239,516	197,553	41,963
報酬手数料	164,240	149,236	15,004
雑費	42,886	21,162	21,724
管理費計	8,109,825	7,804,329	305,496
経常費用計	224,345,479	227,505,998	△3,160,519
当期経常増減額	6,949,129	14,760,316	△7,811,187

正味財産増減計算書

2024年04月01日から 2025年03月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損			
固定資産除却損	6	2	4
固定資産除却損計	6	2	4
経常外費用計	6	2	4
当期経常外増減額	△6	△2	△4
税引前当期一般正味財産増減額	6,949,123	14,760,314	△7,811,191
法人税,住民税及び事業税	6,502,000	7,811,100	△1,309,100
法人税等調整額	△1,225,205	△1,471,486	246,281
当期一般正味財産増減額	1,672,328	8,420,700	△6,748,372
一般正味財産期首残高	447,884,495	439,463,795	8,420,700
一般正味財産期末残高	449,556,823	447,884,495	1,672,328
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	32,853	24,640	8,213
受取民間助成金	514,550	1,257,450	△742,900
受取補助金等計	547,403	1,282,090	△734,687
受取寄付金			
受取寄付金	3,880,163	6,790,842	△2,910,679
受取寄付金計	3,880,163	6,790,842	△2,910,679
一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	△4,393,715	△5,981,935	1,588,220
一般正味財産への振替額計	△4,393,715	△5,981,935	1,588,220
当期指定正味財産増減額	33,851	2,090,997	△2,057,146
指定正味財産期首残高	24,102,557	22,011,560	2,090,997
指定正味財産期末残高	24,136,408	24,102,557	33,851
III 正味財産期末残高	473,693,231	471,987,052	1,706,179

